

第 46 卷 PDF 読本



小田原駅



片瀬江ノ島駅



小田急電鉄

2025年1月8日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

- 第1章 小田急小田原線（小田原～東海大学前：営業キロ 25.5km） ・ ・ 5
- 第2章 小田急小田原線（東海大学前～読売ランド前：37.8km） ・ ・ ・ ・ 17
- 第3章 小田急小田原線（読売ランド前～新宿：19.2km） ・ ・ ・ ・ ・ 36
- 第4章 小田急江ノ島線（片瀬江ノ島～相模大野：27.6km） ・ ・ ・ ・ ・ 57
- 第5章 小田急多摩線（唐木田～新百合丘：10.6km） ・ ・ ・ ・ ・ 73
- 第6章 歩き当初の旅日記 ・ ・ ・ ・ ・ 84

総営業キロ 120.7 k m（小田急小田原線：82.5 km）

小田急電鉄路線図



はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 41 弾目として、山手線・横浜線・南武線・東海道本線などに接続する、神奈川県・東京都を走る、小田急電鉄の旅（総営業キロ 84.7 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 56 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2000 年 6 月～2022 年 5 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「榎原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第44編（日本横断歩き鉄の旅）

小田急電鉄



2022年5月27日 歩く鉄道作家 榎原 勉

第1章 小田急小田原線（小田原～東海大学前）

2022年5月5日（晴れ）、小田急線小田原線の小田原駅から東海大学前までの営業キロ25.5kmにリベンジする。この区間は、“小さな挑戦シリーズ”のウォーキング記録によると、2000年7月20日（木）海の日に、小田原駅から本厚木駅までの営業キロ37.1kmを、7時50分～19時過ぎにかけて踏破したとあった。しかし、駅舎到着時刻や駅舎の詳細な記録ないため、本日のリベンジとなった。



※小田原駅、東海大学前駅

本日は、急遽思いついたため、地図を持参せず、また事前勉強をせずに臨んだ。しかし、小田原駅から東海大学駅までの全駅舎立ち寄りに成功する。渋谷駅前の飛躍的な発展には驚いた。踏破のあと地図で確認したところ、新松田駅から東海大学駅まで鉄道に沿った幹線道路がない中、無事、踏破でき大満足の日となった。



飛躍的発展の渋谷駅

これで通算営業キロは、**1万3千234 km(活動日数464日、日本の鉄道の47.8%)**となった。同時に**地球円周の3分に1到達まで100 km**となった。

各駅舎到着時刻は次の通り。

小田原 (10:18) ～足柄 (11:05) ～蛍田 (11:37) ～富水 (12:00) ～栢山 (12:48)
～開成 (13:28) ～新松田 (14:15) ～渋沢 (16:16) ～秦野 (17:19) ～東海大
学前 (18:44)

①自宅を9時前に出、小田原駅には10時過ぎ到着。小田原駅は、小田急線以外に、新幹線、東海道本線、大雄山線が合流しているため、用心に用心して歩くことを余儀なくされる。10時18分、小田原駅北口を出発。10時21分、新幹線、東海道線下を潜り、鉄道の右側となる。線路下には、小学生の絵画共同作品が掲示していた。遠い小学生時代を思い出した。路地から路地を歩く。10時37分、再度、JR線下を潜る。その先で、大雄山線の緑町第2踏切があり、この境界で右往左往する。運よく、近隣の人と出会ったので、小田急線の足柄駅への道筋をお伺いする。「大雄山線の踏切を渡ると小田急線があります。その線路沿いを歩くと足柄駅に行けます。しかし、遠いですよ」と教えて頂く。



※小田原駅



※小学生の共同作品、大雄山線の緑町第2踏切、小田原市立足柄小学校



※足柄駅

暫く歩くと小田急線（10時43分）があり、鉄道に沿った先で川幅5m位の川（10時52分）にぶつかる。100m位川に沿って迂回した先に橋がある。その先には大雄山線の踏切があり、近く大雄山線の井細田駅があった。小田原市立足柄小学校（10時55分）を經由し、足柄駅には11時5分到着。



※足柄駅、山下踏切、五百羅漢駅

②11時10分、白山神社前で本日の安全を祈願する。11時13分、大雄山線の山下踏切を横切る。11時22分、山北13km、開成8kmと記した道路標識前（県道720号線）を通過。11時15分、大雄山線の五百羅漢駅前を通過。11時25分、万歩計で172歩ある狩川橋（狩川）を渡る。蛍田駅には11時37分到着。



※蛍田駅

③11時51分、中曽根バス停前を通過。11時55分、堀ノ内交差点を通過。その先に富水駅への案内板があり、その案内板に従って歩いた先に富水駅（12時）があった。



※富水駅への路



※富水駅

④12時13分、尊徳記念館前を通過。この記念館は、第23回わいわい会（大雄山線つたい歩き）の際、立ち寄ったことがあるが、再度立ち寄ることにする。30分位、生家や活躍ビデオなどを鑑賞する。12時43分、大雄山茶屋前を經由し、栢山駅には12時48分到着。



尊徳記念館



※栢山駅

⑤遠くに山が見える田圃道を歩き、開成駅を目指す。13時8分、開成3号踏切を横切り、鉄道の左側となる。13時16分、曾比稲荷神社前を通過、13時18分、小田原市から開成町となる。13時28分、開成駅に到着する。



※田圃道を歩く



※開成駅

⑥13時34分、木陰で心地よい公園を通過。13時38分、開成町と記した粋な歩道を通り。前方にある山を見ながら新松田駅を目指す。13時67分、511歩ある十文字橋（酒匂川）橋を渡る。この橋を渡ると開成町から松田町となる。商店街を経由し、新松田駅には14時15分到着。この駅の目と鼻の先に御殿場線の松田駅があった。駅前では先日の狛江駅と同様、ある政党の演説があった。駅前の交番で渋沢駅への道筋を聞いて、渋沢駅を目指す。



※心地よい公園、粋な通り、十文字橋



※酒匂川を渡る十文字橋



※新松田駅、松田駅（御殿場線）

⑦新松田駅から東海大学駅までは、山や川が前方に立ち塞がり、歩くのに相当神経を費やす。小田急線・JR線下を潜り鉄道の左側となる。鉄道に沿って歩き、幹線道路に合流する。14時33分、誤って川首川（籠場橋）を横切り、二宮方面に進もうとする。しかし、誤りに気づき橋の途中で引き返す。14時38分、新籠場交差点で国道246号に合流する。東京73km、厚木25km、秦野9kmと記した道路標識があり。ここから川音川に沿って淡々と歩く。14時52分、上茶屋交差点を通過。15時15分、東京71km、厚木23km、伊勢原16kmと記した道路標識前を通過。



※鉄道に沿って歩く、誤って籠場橋を渡ろうとする



※国道 246 号線を歩く、秦野まで 9 km

15 時 29 分、右往左往して、国道 246 号を離れて、小田線に近い幹線道路を歩く。その先で桃原さんと言う若者と出会う。“渋沢駅への道筋を誤って発信した恐れもある”ということで、すれ違って 5 分位経由した後、ジョギングによりわざわざ引き返し参上頂く。非常に驚いたと同時に感謝また感謝の瞬間であった。このような感動場面はこれまで何回か体験したことがある。直近では羽越本線の村上駅界限で。



※小田急線が右側に、国道 246 号線から離れる

「この路を真っ直ぐ歩いても行けません。途中で、橋を渡る必要があります」と。折角の機会、数分立ち止って、名前や携帯番号など情報交換させて頂く。私の帽子が印象に残ったらしい。”最近小田急線を歩いている”とのことであった。カッシー館を PR させて頂き、お礼を言って別れる。

鉄道に沿って淡々と歩く。15 時 47 分、68 歩ある田頭橋（四十八瀬川）を渡る。右手には小田急線の鉄橋があった。この橋を渡ってから、住宅地に突入。16 時 5 分、溝に小田急線をやっと見つける。ここからも渋沢駅への路は遠かった。何人もの人にお世話になり、やっと 16 時 16 分、渋沢駅に合流する。渋沢駅の凄まじい発展には驚いた。



※四十八瀬川（田頭橋）



※住宅街を彷徨う



※渋沢駅

⑧16時23分、国道246号に合流する。16時32分、三宅坂まで67km地点に到達。国道246号を離れ、秦野市立南中学校前には16時57分到着。線路に沿って川が流れる、秦野駅には17時19分到着。この駅も22年前とは比較できない程、立派な駅前となっていた。川がワンポイントとなっていた。



※渋沢駅、三宅坂まで67km、秦野駅への路



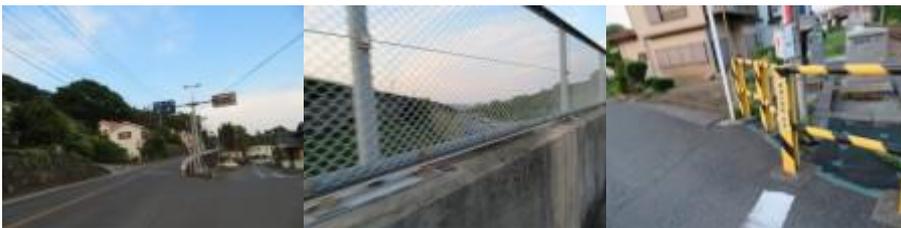
※秦野駅

⑨秦野駅から東海大学前駅は、22年前のイメージから大きく様変わりをしていました。国道246号に沿ってあると思ったが、NGであった。62号線（平塚方面）を歩く。17時45分、室川界隈で右往左往する。地元の人にも確認し、鶴巻温泉と書かれた方向に進行する。右手遠くには小田急線があり、少し安堵する。17時57分、橋を渡る。18時3分、東海大学前7号踏切を横切り、鉄道の右側となる。暫く行った先で、左折が上り坂の鶴巻方面、直進が下り坂の平塚方面となっていた。左折する。暫く歩くと東名高速道路がある。遠くに、住宅街が広がっていた。ここで、前進すべきか、東名高速道路に沿って歩き高台を下るべきか迷う。道筋を聞こうとするが、住人の姿見えず。これまでの第六感を生かし、東名高速道路に沿って歩き、途中から高台を下ることにする。後で地図を確認したところ大正解であった。先日の日豊本線の荻田駅界隈を思い出した。迷った時は、”鉄道に近づく”ことを。



※鶴巻温泉駅への路、東海大学前7号踏切

高台を下った先に、18時23分、東海大学前6号踏切がある。この踏切を横切り、
鉄道の左側となる。運よく、通行人の方に出会い、東海大学前駅への道筋を聞
く機会を得る。「真っ直ぐ鉄道に沿って歩いた先に東海大学前駅はある」との
ことであった。途中、井戸窪というバス停があった。18時42分、はだのモーピ
ク踏切を横切った先に、本日の終着駅東海大学前駅（18時44分）があった。無
事予定通り踏破でき達成感で一杯となる。18時49分発の相模大野行きで自宅を
目指す。



※鶴巻温泉方面と平塚方面の分岐点、東名高速道路、東海大学前6号踏切



※東海大学前駅への路



※はだのモーピク踏切、東海大学前駅

本日の歩きを終え、電車の中で、桃原さんにお礼のメールをする。そして暫くした後で、桃原さんから返信がある。本日は「秦野駅から新松田駅までの歩いた」とのこと。私が”小田原から東海大学前まで歩いた情報”を発信したところ驚いていた。旅はいいものですね。意外なところから仲間もできる・・・。

これで、リベンジによる小田急線踏破まで、小田原線（東海大学前駅～相模大野駅：24.7 km、そして多摩線（新百合丘駅～唐木田；10.6 km）となった。これが終わると”日本横断歩きの旅” PDF の第 44 編(小田急電鉄) が歩く鉄道作家として執筆できる。一日でも早く達成したいものだ。



※東海大学前駅